

実践的な建設技術の習得によるベトナムファンラン地域の 人材育成事業（2022年～2025年）

貧困地域の若者が実践的な技術を身に付け 経済的な自立を実現することをサポート

■ 実施団体：

特定非営利活動法人学び舎つばさ

■ 対象国・地域：

ベトナム国ニントアン省ファンラン地域

■ 現地カウンターパート

ニントアン省立職業訓練校

■ 協力内容：

- ・ 職業訓練校教員の能力強化（実践的な建設技術の移転）
- ・ 実践的な教育を実施するためのカリキュラムと教材の整備
- ・ 職業訓練校と企業との連携体制の構築

■ 団体のこれまでの取り組み：

ファンラン地域での日本語学校運営と
並行して、ベトナム人の若者を日本に
呼び寄せ、建設技術を移転し、経済的
自立を支援する取り組みを実施。

■ 事業実施の背景：

対象地域では、農業以外の産業が少ないため、多くの若者は都市部に流出、もしくは若年失業者となってしまうケースが多い。ニントアン省立職業訓練校では、就職率を高めたいと考えているが、そのための実践的な教育教材や教員の知識レベルが不十分。このような状況を受け、同校に対し実践的な建設技術の移転や教材・カリキュラムの整備を通じ、対象地域の人材育成に寄与することを目的として、本事業が実施されるに至った。



ベトナム国の課題と成果

課題： 職業訓練校が就職に役立つ実践的な技術を教えられる能力、体制を有していない。



成果：

- ・ 職業訓練校の教員がBIM（Building Information Modeling）などの実践的な最新技術を習得。
- ・ 模型、動画、BIMデータ、テキストなど実践的な建設技術が学べる教材・カリキュラムを整備。
- ・ 教員および生徒のインターンシップを実施するなど、ファンラン地域に進出している日系企業関係者と職業訓練校の連携体制を構築。

事業の波及効果

！ 他地域・他国・他分野への広まり

- ・ 教材を多言語化することで、他国および日本国内で建設業に従事する外国人にも活用可。
- ・ 実施団体は、本事業により育成されたベトナム人若手エンジニアを指導者として活用する形で、本事業の成果を近隣諸国（スリランカ、ミャンマー等）に展開することを検討している。
- ・ 同訓練校は、他の分野（美容師育成等）でも同様の協力事業の実施を希望しており、日本側関係者と調整が進められている。